

## 保育科1年

科目名： レクリエーション活動援助法 (演習) (2単位)		担当教員： 宮川多加子	使用テキスト 楽しさをとおした心の元気づくり (公益財団法人 日本レクリエーション協会)
授業目標：信頼関係づくりの方法・ホスピタリティ、良好な集団づくりの方法・アイスブレイキングを習得し、さらにモデルプログラム・レクリエーション活動を習得する。そして理論科目で身につけた根拠に基づきプログラムの実施と評価し、改善していく。			
授業概要：レクリエーション支援を技術、根拠の理論と関連付けて習得できるようにし、卒業後のレクリエーション支援の実践の実践につなげる授業展開を行う。			
回	項目	テーマ	
1	レクリエーション支援の方法	オリエンテーション/あたたかくもてなすという意識	
2	〃	あたたかくもてなすという配慮 対象者の気持ちを受け止めていることを伝える技術・対象者との意思疎通を促進する技術	
3	〃	集団がまとまる仕組みを活かすプログラム	
4	〃	アイスブレイキングモデル	
5	〃	アイスブレイキングの効果を高める支援技術	
6	〃	一つの活動の中で複数回の成功体験を楽しむための目標設定の方法 段階的に成功体験しやすくするアレンジの基本と応用	
7	〃	対象者の相互作用を促進するコミュニケーション技術の活用方法 (CSS プロセス)	
8	〃	目標設定と言葉や表情の活用方法の一体的な実施	
9	レクリエーション活動の習得	レクリエーション支援のためのゲーム	
10	〃		
11	〃		
12	〃	レクリエーション支援のための歌	
13	〃		
14	〃		
15	〃	レクリエーション支援のための音楽に合わせた身体活動	
	期末試験		

## 保育科2年

科目名： レクリエーション活動援助法 (演習) 2単位(1年後期から計24回)		担当教員： 宮川多加子	使用テキスト 楽しさをおとした心の元気づくり (公益財団法人 日本レクリエーション協会)
授業目標：信頼関係づくりの方法・ホスピタリティ、良好な集団づくりの方法・アイスブレイキングを習得し、さらにモデルプログラム・レクリエーション活動を習得する。そして理論科目で身に着けた根拠に基づきプログラムの実施と評価し、改善していく。			
授業概要：レクリエーション支援を技術、根拠の理論と関連付けて習得できるようにし、卒業後のレクリエーション支援の実践の実践につなげる授業展開を行う。			
回	項目	テーマ	
1	レクリエーション活動の習得	レクリエーション支援のための音楽に合わせた身体活動	
2	〃	レクリエーション支援のための様々な活動	
3	〃	レクリエーション支援のための様々な活動	
4	レクリエーション支援の実施	① プログラムの実施～試行・評価	
5	〃	改善点、改善方法の模索	
6	〃	改善の実施	
7	〃	② プログラムの実施～試行・評価	
8	〃	改善点、改善方法の模索	
9	〃	改善の実施	
	期末試験		